

# 光市揺れやすさマップ

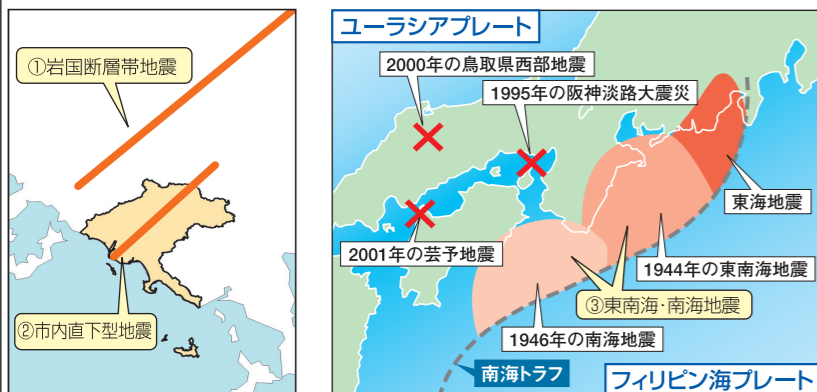
## ～地震防災マップ～

このマップは、自分の住んでいる場所で地震が起こった場合、どの程度揺れが起こりうるのかを示したもので、皆様に住宅の耐震化に関心を持っていただくことを目的としています。

光市への影響が大きいと考えられる3つの地震（①岩国断層帯地震、②市内直下型地震、③東南海・南海地震）の予測震度を重ね合わせて、それぞれの地域で生じる恐れのある最大の揺れを表したものです。

### 想定される地震

- ①「岩国断層帯地震」（小方-小瀬断層、大河内断層を含む）
  - ②「市内直下型地震」（仮想断層：未知の断層が直下で動くことを想定）
  - ③「東南海・南海地震」
- 各地震の位置や規模、光市で予測される震度は以下のとおりです。



周辺の地震	マグニチュード	光市で予測される震度
岩国断層帯地震	7.6	5弱～6弱
市内直下型地震	6.9	5強～6強
南海トラフ	南海地震 8.4前後 東南海地震 8.1前後	(同時) 8.5前後 4～5強

※参考資料:地震調査研究推進本部公表値(平成22年1月1日)

### 震度と想定される被害

<b>震度 4</b> <p>ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。</p>	<b>震度 6弱</b> <p>立っていることが困難になる。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</p>
<b>震度 5弱</b> <p>大半の人が、恐怖を覚え、物につかまると感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することや、不安定なものは倒れることがある。</p>	<b>震度 6強</b> <p>はわないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりが発生することがある。</p>
<b>震度 5強</b> <p>物につかまらなると歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが増える。ブロック塀が崩れることがある。</p>	<b>震度 7</b> <p>耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</p>



1:55,000



凡例		予測される最大震度
○ 市役所・あいぱーく光	— 鉄道	■ 震度5強
○ 市役所支所(公民館)	— 河川	■ 震度6弱
● 警察		■ 震度6強
● 消防		
— 国道188号(第一次緊急輸送道路)		
— 主要県道(第二次緊急輸送道路)		

お問合せ先：光市建設部建築住宅課  
TEL：0833-72-1400